

今では生活の中にもレーザーがどんどん入り込んできています。LASERはホントは英語の頭文字をとった言葉だったんですね。

■LASERは直訳すると難しすぎますよ

昔、レーザー装置は専門家が取り扱う特殊な装置でしたが近年ではCD、DVD等の身近な物から光ファイバーやバーコードの読み取りと生活を取り巻く環境で多く利用されています。レーザーはそれだけ便利な物なんですね。そこで今回のワンポイントはレーザーって？です。

LASERはLight Amplification by Stimulated Emission of Radiationの略で、直訳すると励起誘導放射による光増幅ってことです。難しい言葉ですね。

簡単に言うと光の作り方をレーザーって呼ぶことなんですね。だから私達は本当はレーザー光って呼ばなきゃいけないんですね。

レーザーによって作られる光はレーザー光
レーザー光を出す装置はレーザー発振器



レーザー光の大気中での軌跡はホントは見えません。



ルビーをレーザーに使うなんて一般人からすると贅沢。

1960年

固体ルビーレーザーは可視光レーザーとしてMaimanが発明Townes、Shawlowらが発表。以来、多くの研究者がガスレーザーの実現に向けて研究開発を行っていたが、意外にも固体ルビーを使った可視光レーザーをMaimanが発明した。〈波長690nmの可視ルビーレーザー〉

1962年

日本でもガスレーザーを発振させることに成功した。〈波長1152 nmの赤外He-Neレーザー〉